

大学名 京都大学

表題 高度専門職人材としてのURAの育成と研究支援のグローバル展開

京都大学学術研究展開センター（Kyoto University Research Administration Center：KURA）では、高度な専門性を持つURAが、研究者育成、研究環境整備、国際・学際融合研究の促進、大学経営戦略の企画・立案等を支援しています。

特に、科学技術・イノベーション施策を推進できる高度専門職人材としてのURA育成に注力し、国内外との連携による人材育成により、京都大学の研究のグローバル展開を推進しています。

### 高度専門職人材としてのURAの育成

KURAは、URAの育成とスキルアップのための独自の研修プログラムを提供しています。新任URAは、講義、eラーニング、On the Job Trainingを通じて、研究支援に必要な知識とスキルを効率的に習得します。

2024年度からは、URAに必要な創造的マインドセットを養い、個人の価値観と組織のビジョンを調和させる少人数ワークショップ「コンパス研修」を開始。これは新任者と中堅URAの連携強化の場としても機能しています。



コンパス研修の様子

### 東南アジアとの連携による高度専門職人材の育成とグローバル展開

京都大学は、1960年代から東南アジアでフィールドワークを中心とした学術活動を展開しています。KURAのURAは、2014年設置の京都大学**ASEAN拠点**<sup>[1]</sup>に滞在し、国際研究プロジェクトの申請・運営に携わってきました。2018年以降は、東南アジアの省庁・大学・研究機関等の研究支援者たちと連携し、オンライン勉強会（11回、計約700名参加）やプロジェクトのヒアリング審査を想定した模擬面接なども実施しています。これらの取り組みは国内外で注目を集め、「The Emerald Handbook of Research Management and Administration Around the World」<sup>[2]</sup>にも寄稿しています。

具体例として、トヨタ財団に東南アジアの省庁・大学等と共同申請したプロジェクト<sup>[3]</sup>が採択されました。このプロジェクトでは、カンボジア・タイ・日本の異なるセクターのメンバーに対してインターンシップの機会を提供し、地域特性に応じた高度専門職人材育成を進めています。将来的に、これらの活動が科学技術振興や政策提言につながることを期待しています。

海外においても、現地の研究者やURA等の支援者が一丸となって課題解決に取り組んでいるのが、京都大学の学術支援の大きな特徴です。



東南アジアのプロジェクトメンバーと京都の企業を訪問

参考URL：

1. <https://www.oc.kyoto-u.ac.jp/overseas-centers/asean/organization/>
2. <https://www.emerald.com/insight/content/doi/10.1108/978-1-80382-701-820231023/full/html>
3. <https://toyotafound.my.salesforce-sites.com/psearch/JoseiDetail?name=D22-PI-0003> ; <http://hdl.handle.net/2433/287767>